

	由利本荘市立新山小学校 学校だより <h1 style="margin: 0;">校報松風</h1>	令和5年度 第40号 令和6年2月22日 発行 校長
---	---	----------------------------------

## あきた型学校評価（生徒指導）についての今年度の取り組み

前号では学習指導についての取り組みを紹介しましたが、今回は生徒指導の取り組みを紹介します。

今年度は「ハテナ運動（ハンカチ・ティッシュ・名札の持参・着用）」など、生活を整える子どもを目指して取り組んできました。

今年度の反省を次年度の取り組みに生かしていきたいと思えます。



**【生徒指導】重点目標** 気付きの心を発揮し、生活を整えようとする子どもを育てる。

<b>現 状</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハンカチ・ティッシュ・名札の持参・着用の割合。 4月 ハンカチ91.2%、ティッシュ93.0%、名札90.0%</li> <li>・ 席を立ったら、椅子を机の下に入れる。 4月 91.6%</li> <li>・ 県学習状況調査（R4.12）質問紙 「学校のきまりを守っている」の肯定的回答（R4.12月）（県平均） 4年生85.2%（89.8%） 5年生91.6%（90.6%） 6年生84.5%（92.0%）</li> </ul>
------------	---

<b>具体的な目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ハンカチ・ティッシュ・名札の持参・着用の割合95%以上</li> <li>○ 席を立ったら、椅子を机の下に入れる。95%以上</li> <li>○ 「学校のきまりを守っている」の肯定的回答90%以上</li> </ul>
---------------	---

<b>目標達成のための方策</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ハンカチ・ティッシュ・名札の「ハテナ運動」を推進するとともに、席を立ったら、椅子を机の下に入れることに各学級で取り組む。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童委員会から全校に呼び掛ける。</li> <li>・ 係活動で学級に呼び掛ける。</li> <li>・ 全校集会で、全校児童の共通実践事項であることを確認する。</li> <li>・ 学年通信や学校だより等で取組の趣旨や状況を伝え、家庭の協力を仰ぐ。</li> <li>・ 机の下に入っていない椅子に気付いたら、気付いた人が入れることを推奨する。</li> </ul> </li> <li>2 規範意識を育てる指導を共通実践する。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎週火曜日の朝に学年集会を開催し、学年への所属意識を高めるとともに、学校生活の改善を図る機会とする。</li> <li>・ ルールを守る理由を理解できるように説明し、誤った行動をしたときは適切な指導をする。</li> <li>・ 児童会から、ルールを守った行動について呼び掛けを行う。</li> </ul> </li> </ol>
-------------------	--

<b>具体的な取組状況</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>ハテナ調査（ハンカチ・ティッシュ・名札の持参・着用調べ）を5・7・9・12・2月に行い、結果を全校集会等で確認したり、強調週間を設けたりして意欲付けを図った。</li> <li>机・椅子の整頓は、授業の始まりや特別教室への移動時に、学級担任や係の子ども、日直等が声を掛け、意識するようにした。</li> <li>児童委員会（生活安全委員会）が、休み時間に校内に立ち、安全な廊下歩行を呼び掛けた。</li> <li>毎週火曜日朝の学年集会で、行事への取組や学校生活の仕方を振り返り、よりよい行動を褒めるようにした。</li> </ol>	<b>D</b>																								
<b>達成状況</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>ハンカチ・ティッシュ・名札の持参・着用率は、右の表の通りで、2月は目標の95%をほぼ達成することができた。 <table border="1" data-bbox="742 474 1356 622"> <thead> <tr> <th></th> <th>5月</th> <th>7月</th> <th>9月</th> <th>12月</th> <th>2月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ハンカチ</td> <td>91.2</td> <td>94.7</td> <td>97.5</td> <td>95.9</td> <td>97.4</td> </tr> <tr> <td>ティッシュ</td> <td>93.0</td> <td>93.8</td> <td>96.2</td> <td>94.1</td> <td>97.4</td> </tr> <tr> <td>名札</td> <td>90.0</td> <td>93.6</td> <td>95.4</td> <td>92.3</td> <td>94.5</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>「席を立ったら、椅子を机の下に入れる」は、2月の調査95%で、目標の95%以上を達成することができた。</li> <li>「学校のきまりを守っている」の肯定的回答（R5.12月）は、目標の90%以上を達成できたのは6年生のみだった。（ ）内は県数値 4年86.4% (90.3%) 5年86.8% (89.8%) 6年93.2% (91.0%)</li> </ol>		5月	7月	9月	12月	2月	ハンカチ	91.2	94.7	97.5	95.9	97.4	ティッシュ	93.0	93.8	96.2	94.1	97.4	名札	90.0	93.6	95.4	92.3	94.5	
	5月	7月	9月	12月	2月																					
ハンカチ	91.2	94.7	97.5	95.9	97.4																					
ティッシュ	93.0	93.8	96.2	94.1	97.4																					
名札	90.0	93.6	95.4	92.3	94.5																					

<b>自己評価</b>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="316 842 470 1211"> (評価)  B </td> <td data-bbox="470 842 1385 1211"> (根拠)  ハンカチ・ティッシュ・名札については、定期的に調査をし意欲付けを図ってきたところ、持参・着用率が徐々に上がっていき、目標をほぼ達成することができた。 「席を立ったら、椅子を机の下に入れる」は、教師が声を掛けなくても、自分で気付いたり、友達の椅子を直したりすることが自然にできるようになってきた。 「学校のきまりを守っている」の肯定的な回答は、6年生は、目標の90%を達成できたが、4・5年生は4%弱届かなかった。規範意識を育てる指導を工夫していきたい。 </td> </tr> </table>	(評価)  B	(根拠)  ハンカチ・ティッシュ・名札については、定期的に調査をし意欲付けを図ってきたところ、持参・着用率が徐々に上がっていき、目標をほぼ達成することができた。 「席を立ったら、椅子を机の下に入れる」は、教師が声を掛けなくても、自分で気付いたり、友達の椅子を直したりすることが自然にできるようになってきた。 「学校のきまりを守っている」の肯定的な回答は、6年生は、目標の90%を達成できたが、4・5年生は4%弱届かなかった。規範意識を育てる指導を工夫していきたい。	<b>C</b>
(評価)  B	(根拠)  ハンカチ・ティッシュ・名札については、定期的に調査をし意欲付けを図ってきたところ、持参・着用率が徐々に上がっていき、目標をほぼ達成することができた。 「席を立ったら、椅子を机の下に入れる」は、教師が声を掛けなくても、自分で気付いたり、友達の椅子を直したりすることが自然にできるようになってきた。 「学校のきまりを守っている」の肯定的な回答は、6年生は、目標の90%を達成できたが、4・5年生は4%弱届かなかった。規範意識を育てる指導を工夫していきたい。			

↑  
**評価基準**  
A : 具体的な活動がなされ目標を達成できた    B : 具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない  
↓  
C : 具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない

<b>学校関係者評価と意見</b>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="316 1305 470 1673"> (評価)  + B </td> <td data-bbox="470 1305 1385 1673"> (意見)  「ハテナ運動や椅子を入れる」など、目に見える、取り組みやすい目標でよいと思う。小さな目標をクリアし達成感を感じさせ、『ほめる指導』が大切である。最終的な目標が基本的な生活習慣への波及効果と考えると、「学校のきまりを守っている」は次につながる重要な要素と思われる。6年生は最高学年としての自覚が結果につながっているように思われるが、それに続く5年生、4年生にその意識を高める工夫が必要かと思われる。子どもは、どんな点について「きまりを守っていない」と思っているのか分析してほしい。 </td> </tr> </table>	(評価)  + B	(意見)  「ハテナ運動や椅子を入れる」など、目に見える、取り組みやすい目標でよいと思う。小さな目標をクリアし達成感を感じさせ、『ほめる指導』が大切である。最終的な目標が基本的な生活習慣への波及効果と考えると、「学校のきまりを守っている」は次につながる重要な要素と思われる。6年生は最高学年としての自覚が結果につながっているように思われるが、それに続く5年生、4年生にその意識を高める工夫が必要かと思われる。子どもは、どんな点について「きまりを守っていない」と思っているのか分析してほしい。	<b>C</b>
(評価)  + B	(意見)  「ハテナ運動や椅子を入れる」など、目に見える、取り組みやすい目標でよいと思う。小さな目標をクリアし達成感を感じさせ、『ほめる指導』が大切である。最終的な目標が基本的な生活習慣への波及効果と考えると、「学校のきまりを守っている」は次につながる重要な要素と思われる。6年生は最高学年としての自覚が結果につながっているように思われるが、それに続く5年生、4年生にその意識を高める工夫が必要かと思われる。子どもは、どんな点について「きまりを守っていない」と思っているのか分析してほしい。			

<b>自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策</b>	「ハテナ運動」は、成果が目に見えて分かるので、子どもを褒めて意欲を高める効果があった。今後も小さな目標を設定し、それをクリアすることを継続して、基本的な生活習慣の定着へつなげていきたい。 「きまりを守る」については、「守れているきまり」「守れていないきまり」を分析し、対策を子どもと共に考えていきたい。	<b>A</b>
------------------------------	--	----------

### 能登半島地震に係る義援金へのご協力ありがとうございました

2月15日（木）のPTA参観の際に、能登半島地震に係る義援金の募金活動が行われ、20,933円が集まりました。義援金は、秋田県PTA連合会を通じて被災地PTA協議会へ届けられることになっています。ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。